

# いとすぎの丘



日本赤十字豊田看護大学  
Japanese Red Cross Toyota College of Nursing

Vol.2



## Campus Life

### 座談会「2005年 体育大会について」

随 想 学長 村地 俊二

### Topics チューター制度とオフィスアワー

教授 石黒 士雄

## Academic Library

研究の窓 教授 端谷 毅



こんにちは！先輩  
国家試験（看護師・保健師）受験対策  
専攻科に入学して

## Information

- 入試関係
- 公開講座・大学と市民との交流
- 大学の年間情報、その他

## 災害に備えて・・・

本学は、非常災害時に日本赤十字社が行う救護活動の拠点として活動するための様々な設備を備えています。

この一つに燃料電池システムがあります。このシステムにより、平常は本学の電力の半分を供給し排熱は空調や給湯にも利用しています。災害時にはライフラインが遮断されても、LPガスにより72時間の自給発電が可能です。

また、体育館には壁面に医療ガスが配備され、避難所や救護所として活用することを想定しています。その階下には日本赤十字社愛知県支部の災害倉庫として、救護資材や救援物資が備蓄されています。その他にも、国内型緊急対応ユニット（DERU）\* の配備、グラウンドをヘリポートとして活用するなど、迅速な救護活動への準備が整えられています。

\*新潟県中越地震でも仮設診療所として活躍しました。

## 平成十七年度入学式

4月6日、一七八名(大学一三五名、短大専攻科四三名)の新入学生を迎え日本赤十字豊田看護大学及び日本赤十字愛知短期大学専攻科の入学式が行われました。期待と緊張の中、一人ずつ氏名を呼ばれ、大学生活のスタートをきりました。村地学長からは、新たに看護を学ぶ学生に向けて、お祝

いの言葉と成長への期待が述べられました。

新入生代表は、訓練や困難を乗り越え、最後までやり遂げるといふ強い意志と、尊い命に対し深い責任と自覚を持つて努力するという決意を誓いの言葉としました。

赤十字の掲げる「人道」の理念を胸に、人間性を養い、看護学を修得し、国際社会で活躍できる、実践力のあ



## 合宿研修について

看護学部1年 土方千明

私たち新1年生は4月14・15日にこれから共に生活していく仲間と交流を深めるため、一泊二日で三重県合歓の里へ行きました。行ききのバスでは、初めて出会った同級生と時を忘れて盛りあがりしました。同じ看護師を目指す仲間だと思ふとなんだか不思議な気持ちでしたが、私も負けない

ように頑張っていこうと思えました。一日目のオリエンテーションでは、グループで山の中を散策し、一致団結してゴールを目指しました。残念ながら私たちのグループは首位をゲットできませんでした。夕食で初めての共同作業という貴重な時間を過ごしました。夕食でおいしいバイキングを堪能し、食べ過ぎて夜寝苦しかったです(笑)。夕食後はキヤンプファイヤーで盛り上がりもピーク。とても大学1年生には見えないはしゃぎっぷりで、興奮も冷めないまま、お風呂でもわいわい交流を楽しみました。夜は合歓恒例の「朝までトーキング」となりました。「どんな看護師になりたいか」など、それぞれ違う思いが聞けて視野が広がったと同時に、こんな素敵な仲間と一緒に学んでいける喜びを感じ



じながら朝を迎えました。二日目はチューター交流会。少し緊張感を持って他の人の話を聞き交流を楽しみました。自由行動では、合歓の里の豊かな自然に触れ合いながら、水上ゴムボートに乗ったり、広場でバトミントンをしたり、日常では経験のできない体験ができリフレッシュしました。たった一泊二日でしたが、多くの新しい友達ができ、第一印象と全然違う人、すっかり自分の考えを持っている人など新たな発見がありました。これから4年間、この仲間を大切に、同じ目標を持った仲間同士充実した毎日を送っていきたいと考えています。この合宿研修はとっても思い出深いものになり、大成功だったと振り返っています。

## 赤十字大会を終えて

看護学部2年 山内幸子

6月1日に愛知芸術文化センターで愛知県支部の赤十字大会が行われ、私たちは、大会の最後に「あこがれの赤十字」を歌うという大役を受けて参加した。赤十字の大会と言うことで、大きな大会を予想していたが、予想以上に広い会場と、厳肅な雰囲気に変驚いた。

表彰は名誉総裁である秋篠宮妃殿下によって行われ、受賞される方の姿はともて堂々としていて、大変名誉あることなのだ伝わってきた。受賞されていた方は高齢者が多く、この表彰は、長い間赤十字に貢献してきた証でもあるようにも感じ

た。また、名誉総裁が妃殿下であることから、赤十字原論の講義で学んだように、皇室と日本赤十字社の深いつながりを感じ、赤十字が日本の歴史に深く関わってきたことを思い返さずにはいられなかった。表彰の他に、赤十字のボランティアに参加した方からの発表があった。その方は災害の復興支援活動に参加された折、最初自分は被災者を援助する立場の意識であったが、段々と逆に助けられ、生きていることの大切さや、人間の強さを学んだと話された。私は援助したこともされたこともないが、ボランティアや現地の方、このような多くの人々の力によって、赤十字の活動は支えられているのだと感じることができた。そして、それ以上に多くの人を助け、支えようとしている日本赤十字社の一員として赤十字大会に参加できたことを心から誇りに思



変わった年に入学でき、より多くのことを学べる恵まれた環境にある。表彰されることも大変名誉あることであるが、患者さんに信頼される看護師を目指してこれから努力していこうと改めて思った。



変わった年に入学でき、より多くのことを学べる恵まれた環境にある。表彰されることも大変名誉あることであるが、患者さんに信頼される看護師を目指してこれから努力していこうと改めて思った。



# 武人、雅人、佳人 を追想する

前編  
学長 村地 俊二

豊田市に寺部町という地域がある。

その町には寺部城跡とか守綱神社とか守綱寺とか隨應院といった史跡があるが、この寺は寺部領主渡辺家に関わるものが多い。

旧寺部藩主渡辺半蔵家は、三河時代からの旧松平家の家臣であったが、初代渡辺半蔵守綱は天文11年（1542）3月、碧海浦辺の渡辺高綱の長男に生まれ、弘治3年（1560）初めて徳川家康（旧松平）に仕えることになった。

永禄3年（1558）、徳川家康は、水野下野守と尾張石瀬にて戦ったが、当時若千7歳の渡辺半蔵は敵兵60騎を自らの槍先にて薙ぎ倒し突き刺し、その奮戦ぶりは家康の激賞するところとなり、以来家康の出陣には必ず「槍の半蔵の扨従あり」と言われ、徳川16将の一人に数えられる名将となった。

慶長5年（1600）、関ヶ原の決戦に大勝した徳川家康は遂に天下の覇権を握り、渡辺半蔵守綱は大阪城において特に家康より戦功を賞され「鳩胸の鎧」という南蛮胴具足を拝領し、家禄の加増もみとめられる栄誉に浴した。

慶長8年（1603）、家康は征夷大将軍となり江戸幕府を開いたがその4年後の慶長12年、家康の9男、徳川義利（義直）は、徳川御三家の初代尾張藩主として尾張に封ぜられ、渡辺半蔵守綱は親藩尾張藩付家老として家禄1万4千石をも

つて藩主義直に仕えることになった。したがって寺部藩主渡辺守綱は常時尾張藩（名古屋）に家老として在勤し、三河寺部領は留守家老が管理統治していたのである。

## 寺部領と守綱寺



図1 寺部「守綱寺」の門標（現存）

上記寺部領主渡辺家の菩提寺は「渡辺山守綱寺」という名称で寺部町2丁目に現存する。元和元年（1615）、初代藩主半蔵守綱が逝去すると2代藩主重綱は寺部領内に墓所堂舎を建て、これを「横山御堂」と呼んだが、その後3代藩主治綱によって寛永13年（1636）に「渡辺山守綱寺」と改称、大整備がなされた（図1、2）。

その本堂裏に寺部渡辺家墓所があり、初代守綱の古色蒼然たる墓塔（図3）をはじめ13代までの歴代藩主の墓塔と、明治維新以降の渡辺家当主の墓塔、

さらに歴代藩主の奥方の墓を含め全部で50基以上が立ち並んでいる。



図2 豊田の守綱寺 山門

なお、寺部町4丁目

にある「隨應院」は、2代藩主重綱夫人（隨應院）の墓所で、隨應院のほか松樹院、覚清院の3基の墓が現存する。



図3 初代藩主渡辺半蔵守綱寺

## 奥殿藩主 大給松平家

日本赤十字社の前身「博愛社」の創設の中心人物は、佐賀鍋島藩の藩士佐野常民と三河奥殿藩の11代藩主大給松平乗諤（のちの大給恒）であることは、すでに皆さん周知の事柄と思う。現在の岡崎市にある岡崎奥殿藩は、松平宗家（豊田市松平郷出自）から出た大給松平家5代が豊田市大給城に居住した後、上記岡崎市奥殿に移り、初代松平眞次から2代目乗次、3代乗成、4代乗眞と続いた。

4代目大給松平乗眞の時代、岡崎奥殿の他に、領した摂津領地が信州佐久に変更され、以後信州佐久郡の、田野口領にも陣屋を構えた。松平乗眞は大給城地の居宅も奥殿に移し、岡崎に奥殿陣屋を構え、ここを本拠とした。

次いで大給松平家は5代盈乗、6代乗穩を経て7代乗友が天明2年（1782）、22歳にて家督を継承したが、この藩主は書画など文芸に秀で、風雅の道に生きることを望み僅か39歳にして藩主の地位を8代乗尹に譲った。しかし、乗尹は

病弱の身であったため前藩主乗友は隠居したもののやむなく政務を代行。さらに9代乗義が藩主になっても後見役は続いた。

## 渡辺規綱と裏千家玄々斎

寺部藩主渡辺規綱は、上記大給松平家7代奥殿藩主乗友の子として寛政4年（1792）出生、幼名を綱久と言ひ享和2年（1802）10歳のときに尾張徳川家の家老として、かつ寺部渡辺藩10代藩主に養子入りした。文化元年（1804）、家督を継ぎ、また乗友や兄乗の文化的環境や素値をも引継いだ文化人で茶道、本草学、作陶でも有名で、現在豊田市七州城跡公園内に保存されている「又日亭」という書院、茶席は渡辺規綱（又日庵）の設計、所有であった記念物である。

裏千家第11世玄々斎宗室は、前記奥殿藩主大給松平7代乗友の5男として文化7年（1810）に出生した。幼名を栄五郎と称し、18歳年長の兄。渡辺規綱が名古屋城内の家老屋敷に引取り養育し、



図4 立礼式点茶法

武道のほかに茶道、漢籍などを教えた。栄五郎10歳の時、すでに実兄の奥殿9代乗流や渡辺規綱と親交のあった茶道裏千家10代認得齋宗室の懇望により裏千家養子となり京都に移り、本格的な茶道をはじめ和歌、書道、華道、香道等 芸道を修めた。

養父認得齋が文政9年(1826)に逝去の後、家督を継承し第11代家元玄々齋宗室として活躍をはじめ、天保10年(1839)、利休250年忌の大法要を盛大に営み、長年、尾張徳川家をはじめ伊予松山藩主、加賀前田家など大名の茶道奉行を精力的に勤めた。

玄々齋は茶道中興の祖と崇敬され、その功績は限りなく偉大であるが、とくに明治維新に際し、茶道は遊芸の一つと見なされ、「遊芸稼ぎ人」という鑑札が交付されるといふ茶道の大危機に遭遇するや、彼は敢然として「茶道の源意」といふ建白書を執筆、上申してその制度を廃止に至らした大功労者であった。また斬新なる茶箱点とか和巾点の考案とか、長年の伝統を破る立礼式点茶法(椅子点)(図4)を考案提唱し、遂に之を一般に認めさせ、茶道の国際化、普及に貢献した功績も大きい。



図5 十一世玄々齋宗室 画像

## トピックス チューター制度と オフィスアワー

(石黒教授)



日本赤十字豊田看護大学にはチューター制度が設けられている。各教官に毎年ではない

生が割り振られる。学生便覧ではその目的を「教員と学生とのふれあいを通して、学生生活を有意義に過ごすことができるように、またより豊かな人間的な人格陶冶を目指して、学生の人格形成を援助してゆくことを目的として運用する」としている。この耳慣れないチューターを英和辞典で調べてみると、「Eto」名詞。①個人指導教師、家庭教師、②後見人である。日本赤十字愛知短期大学ではアドバイザーと呼ばれている。アドバイザーはチューターに比べるともっと一般的な名称で、ファッショナドバイザー、消費生活アドバイザーは説明も要らない。ワイオンを選ぶ際のアドバイザーをソムリエと云うのは、もう常識中の常識でしょう。このような制度は学生が落ちこぼれることなく卒業をして欲しいという大学側の切なる願いから出来上がっているのだから、各大学で名前こそ違え、似たような制度が多く見られる。高校のようにクラス担任制(1クラス20名)として運用している学校(神戸市立看護大学)もある。大学のみならず、代々木ゼミナールでは現役大学生をチューターの名で雇い、掲示板経由で、学生の悩みや質問に回答をす

る体制をとっている。対象が少々特殊ではあるが、駒場の留学生会館では、住み込みの日本人学生が、留学生の日常生活の手助けをするチューター制や、京都産業大学では、新入留学生・交換留学生に対し4月から7月の4ヶ月間、マンツーマン(大学生)のサポート体制をとっている大学もある。後半のチューターは、英和辞典での②後見人に相当するものではないか。40年前のことだが、小生の大学(教養部2年間)時代にも指導教官制があった。はんこをもらいにいったところしか覚えがないので、何か問題が発生した時に担当する教員という位置づけだったと思われる。パチンコに凝って授業料を使い込んでしまった剛の者も同級生にはいたが、幸いなことに小生は指導教官に呼び出しを喰らうことはなかった。

学生のドロップアウトを防止するには、なんとと言っても仲間ができることであろう。学生にとっては学校生活が楽しいことがまず必要である。わが校でもその点を考慮し、チューターと指導学生のミーティングを年に2-3回持つような体制であるが、始まったばかりでもあり、その効果のほどはまだ不明である。次に重要な点は教育環境であろう。講義室、クラブ室の広さや空調などの施設整備も重要だが、教育環境を測る目安として常勤教員一人あたりの学生数がある。この数は少ないほうが優良な環境であることは明らかで、教員が多ければ、それに比例して学生に接する頻度が高くなる理屈である。国立大学ではだいたい1桁で、私立大学では2桁と高い傾向にあると言ふ。さてわが校はどうかと心配になるが、現在(平成17年度)のところ390人の学生数に対して常勤教員43人で、9・1

と一桁の値である。これは「優」といえる。しかし2年後には学生数が560人になるので、どうなりますか? いずれにしろ、一方通行でないコミュニケーションが学生だけでなく教師の精神衛生面にも有効なので、学生にはどんどん教員の部屋に押しかけることを勧めたい。

この際に設定されるのがオフィスアワーである。あらかじめ教員側の受け入れ時間を指定する制度である。しかし、卒業研究時のように頻繁に学生が訪問する時期や試験問題作成時以外には制限を設ける必要はない。

教員と学生を結び付けて円滑に関係が取れるようにというこの制度にも決定の仕方が2つある。わが校のチューター制の様に学校側が相手を決めるやり方と学生側が教師を選ぶ方法である。入学したばかりの学生に指導教官を選ばせるのは、少々無理も伴うが、教師の略歴、研究内容、所属学会、代表的著書などの情報提示が学生に教師の人となりを知らせるためにも必要だろう。3、4年生の指導教官はふつう卒業論文の指導に当たるので、指導教官選びは多くの学生にとってはストレスのようである。インターネット上にもこの悩む学生向けのチェックリストが公表されている。その一部を以下に抜粋しておく。さて、あなた(教師)はこのうちいくつかあてはまるだろうか、あるいは学生はあなたをどう見ているのだろうか?

- 指導教官チェックリスト
- 1) その時、その時で言うことが違う
  - 2) 物忘れががげしい
  - 3) 学生の研究内容を理解できていない
  - 4) 学生からの進言や提案を嫌う

# Academic Library

## 図書館

闘病記を、病気と向き合い戸惑う患者や家族に届けようという動きがある。<sup>1) 2)</sup>

闘病記の図書館における分類・配架は医学、ノンフィクション、ルポルタージュなどの多くの分野に分けられ、闘病記というテーマで収集

されることはない。また、書名から正確な病名を探すことは難しい。さらに、多くの闘病記は自費出版で、書店に並ぶ機会が少なく、患者が自分と同じ病気の闘病記を探すことは難しいのが現状である。

さて、本学では「看護学概論」で闘病記を読む課題が出される。闘病記は患者や家族の語り(ナラティブ)であり、その語りを傾聴することは「患者の心に寄り添う」ことでもあるからである。<sup>3)</sup>

本学図書館では前身の「愛知短大」時の成人看護の教員より「例えば乳癌の闘病記をOPACで検索できるようにしてほしい」とのアドバイスを受け、新たに購入する闘病記から件名として「闘病記」「病名」を入力している。また、短大の前身「看専」時より収集所

蔵している闘病記は現在三百冊を超える。

このたび、当館の分類・配架を見直し、闘病記を1カ所に集め、所蔵している闘病記全ての件名の遡及入力を終えた。試みに当館のWebOPAC<sup>4)</sup>のフリーワード欄にそれぞれ「闘病記」、「ALS」(「筋萎縮性側索硬化症」でも検索可能)、「患者」(もしくは「家族」など著者の属性が入力済みである)と入力し検索していただきたい。ALS患者が書いた闘病記が見つかるはずである。今後も闘病記は収集を続けるので、将来的に看護大学図書館らしいコレクションができると思っている。

また、NACSIS-Webcat<sup>5)</sup>にも闘病記の遡及登録を済ませ、広く学外の方にも当館の所蔵がわかるようになっていく。

1) 「闘病記」活用しやすく「朝日新聞(朝刊)生活一面:二〇〇五年六月十日

2) 星野史雄「古書「パラメディカ」店主が語る「闘病記」との出会い」看護教育2004:45(5):350-355

3) 門林道子「現代における「闘病記」の意義ーがん闘病記を中心にー看護教育2004:45(5):358-364

4) URL: <http://toshortoyota.ac.jp>

5) URL: <http://webcat.ni.ac.jp>

# 研究の窓

## 教授 端谷 毅



S30年生、名古屋  
市立大学医学部卒業、  
第3内科にて研修医  
後、第2生理学の助  
手として、体温調節  
の放熱機構としての  
発汗の研究、さらに

教授の交代によりパーキンソン病モデルラットを使用しての脳神経移植などの大脳生理学を研究。平成6年より愛知県職員として豊明保健所に勤務しその後、西尾保健所での勤務を経て、愛知県庁環境衛生課に配属となり、感染症法の愛知県計画策定に携わりました。当時よりエイズ問題、老人問題、精神疾患患者における社会福祉システムの不備などに感心を持ち始めていました。平成12年より、現在の大学の前身であり、名古屋第一赤十字病院敷地内にあった日本赤十字愛知短期大学の専攻科(保健師養成コース)および短期大学の生理学、公衆衛生学の担当者として採用されました。平成16年4月より当大学の教授として、形態機能学、疫学、医療概論、ヘルスプロモーション論を担当しております。地域保健を教える立場になり、改めて健康の定義などを

学んでみると、日本においては、WHOで提唱されている「身体的、精神的、社会的・・・」といった健康の定義とはかけ離れ、「体の健康」に重きを置く偏った健康感が根付いていることを実感すると同時に、メンタル面を強調した「心の健康」という言葉に多くの人が違和感を持たない現実疑問を抱くようになりました。「健康II体」の概念が日本に根付いた結果、健康が損なわれた人々、つまり介護が必要な高齢者や障害(身体的、知的、精神的)を持った方々が、厄介者のように扱われる風潮が生まれた大きな原因のひとつであると感じています。今後は、人の体の仕組みを熟知し、さらにWHOで提唱されている健康の定義である「身体的、精神的、社会的」なバランス感覚を身に付け、心や家族や地域など、いろいろな方向から健康をコーディネートできる看護師を育てていきたいと思っております。また研究としては、自らが代表している「NPO地域ケアを考える会」での、心と地域研究会(月3回開催)という勉強会の主要テーマの「発達障害」「虐待」「子供の心理」などや、「父と子の日」に参加してくれた家族でのお母さんの気持ちなどが知りたいと考えております。事業の詳しいことはホームページをご覧ください。

<http://www.k3.dion.ne.jp/~r-care/>

## こんにちは！先輩

名古屋第二赤十字病院 産婦人科病棟

立松 あき 平成13年卒



産婦人科、生と死・若と老、女性の一生を通して関わるこの出来る場所、こ

れが私の職場です。新聞を読まれた方もいると思いますが、ある投稿にこんなものがありました。

「赤ちゃんのいる人・いない人・欲しくても出来ない人・亡くした人、子宮や卵巣・女性特有の臓器を失う決断を迫られている人・決断をした人、死を迎えようとしている人、そんな人々が交差する場所、どうかもっと配慮が欲しい」と。確かにそうです。私達もある病室では涙し、ある病室では笑顔に包まれ、一日に何度もそれを繰り返しているのです。

私自身、助産師・看護師・妻・母・娘・そして一人の女性として日々過ごしています。ここまでの道のりは平坦なものではなく、父を末期癌で亡くし、慣れない夜勤や業務に対する責任の重さに自身の心身のバランスを崩し不眠症になったり、母がクモ膜下出血で倒れたり…。そんな中、結婚・妊娠・妊娠によって発見された卵巣腫瘍の手術を受け、まもなく出産を迎

えようとしています。これらから私は、一日一日・一つ一つの出来事の全てが看護に通じていることを痛感してきました。

どうか後輩の皆さん、毎日を大切に過ごして下さい。専門的な勉強も知識も技術ももちろん必要ですが、人間として成長し、自分を磨くことが看護にはとても必要だと思います。自分の経験や感じた事思った事は、看護をしていく上で困難にぶつかった時、自分を助けてくれます。そしてもう一つ忘れてはならない事、それは自分を支えてくれている全ての人です。

私は学生時代にかけてがえのない友人・尊敬できる恩師に出会いました。就職後、よきライバルでもある同期に出会いました。理想であり目標となる上司や先輩に出会いました。家族はもちろん周りの人が私に勇気や力を与えてくれました。みんなに刺激を受けつつ、私は成長することが出来たのです。そしてこれからもそうでしょう。飲み会、コンパ大いに結構！人と人とのつながりを大切にして下さい。何にも代え難い宝物です。

私はきつとこの仕事が好きで、この仕事をしている人達も大好きです。大変なことも多いけれどこんな人に成長させてくれ、泣いて笑って感動し、やりがいがあると思える仕事は他にないのではと思うほどです。どうか後輩の皆さんが、この職を選んだことを幸せに思える日がきますように。

## 国家試験対策

助教授 市江和子（国試対策委員長）

短期大学は平成17年度に最終の学生の卒業・修了を迎える。同時に、学生たちは第95回看護師国家試験・第92回保健師国家試験を受験することになる。

看護学科では、4月に、看護師国家試験ガイダンスを行って学習の動機付けをし、8月・12月に対策セミナーを実施する。また、専攻科生の保健師国家試験に関しては、全員が看護師の資格を取得しており、9月にガイダンス、12月・1月に対策セミナーを計画している。全国的な傾向として、看護師国家試験の合格率は91・2%（平成15年度）、91・4%（平成16年度）と90%を維持しているが、保健師国家試験の合格率は81・5%（平成16年度）と厳しくなる傾向にある。本学の閉校にあたり、最後の卒業生全員が無事合格することを願い、教職員と国家試験対策委員会とが協力しあい支援している。

両学科生ともに11月までは臨地実習が中心である。国家試験は単なる暗記ではなく実習のプロセスの中で身につけて学んできた内容が問われるので、実のある実習をしてほしい。そして、来年の2月には、自信をもち国家試験に臨んでもらいたい。

## 専攻科に入学して

佐藤さゆり

専攻科に入学し、はや三ヶ月が過ぎようとしている。私が保健師養成のこの学校に進学をした大きな目的は、地域での保健活動を学び、自分自身の視野を広げたいという思いがあったからだ。入学式では、新たな顔ぶれに、期待と不安の入り混じった思いがあったのを覚えている。専攻科に入学した当初から、多くの先生方から、「専攻科は、この一年で、日々の講義もさながら、研究論文も進め、就職活動を個々に行い、なおかつ、来年度にある国家試験に向けても勉強しなければならぬ大変な一年を送ることになるだろう」と言われ、三ヶ月経った今、それを切に痛感している。研究に関しては、私を含め多くの学生が、先生方の指導のもとに、暗中模索しながら、慣れない研究に日々明け暮れ、図書館の閉館まで大学にいることもしばしばである。しかし、私は、慣れない研究や、多くのグループワーク、テスト等で忙しさを感じているが、それ以上に日々充実した毎日を送っているのだと実感している。

また、看護学科の時とは違い、この専攻科のメンバーは、年齢も様々で、臨床経験を持つ人も多く、自分とは違う価値観を持っている人がいる。そうした中で、グループワークを行い意見交換する際には、今まで自分の中になかった考えや、思いを知ることができ、とてもいい刺激となっている。

この三ヶ月があつという間だったように、この一年も、あつという間だと思いが、私は、この一年で保健師のための知識を身に付けるだけではなく、それを糧として、ここで出会った多くの仲間とともに協力し合い、お互いの価値観を尊重し合い高めあつて、来年の春、自分の進んだ道で、この学び舎での学びを、最大限に活かした医療従事者の一人となれるよう精進していきたい。

## 編入学情報

編入学とは、中途年次から4年制大学への入学を認める制度です。編入学試験に合格し、不足している単位を取得すれば、4年制大学卒業資格「学士」の称号が与えられるシステムです。

編入という制度は、すべての大学で実施されているわけではありません。しかし、近年は採用する大学がかなり増えています。

日本赤十字豊田看護大学も、三河地域唯一の看護学部の大学として、看護の高等教育への門戸を開き、「開かれた大学」としての役割を担うため、平成18年度より3年次編入学制度を設けます。

### 平成18年度編入学試験

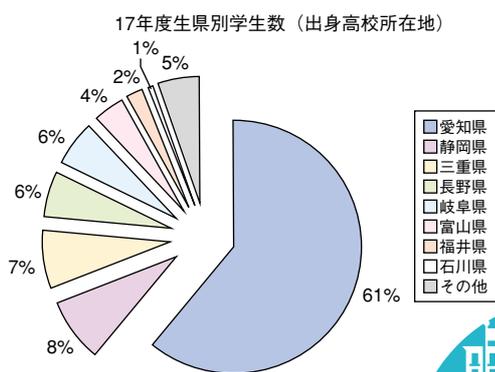
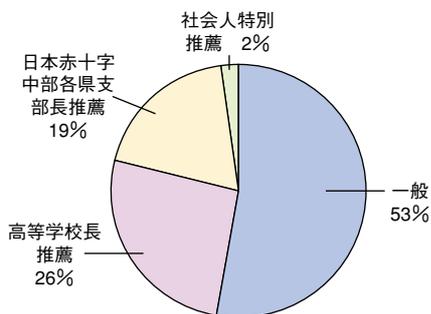
募集人員 10名  
 試験日 平成17年10月8日(土)  
 選抜方法 小論文、面接、書類審査  
 試験会場 日本赤十字豊田看護大学

### 問い合わせ

学生課直通 TEL(0565)36-5228

## 平成17年度 入学志願者状況

推薦区分	志願者	入学者
一般	481	72
高等学校長推薦	36	35
日本赤十字中部各県支部長推薦	25	25
社会人特別推薦	10	3
合計	552	135



## いとしぎの丘 Vol.2

発行日/2005年9月1日  
 編集・発行/日本赤十字豊田看護大学  
 広報・公開講座委員会、総務課  
 〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33  
 TEL 0565-36-5111 FAX 0565-37-8558  
 E-Mail info@rctoyota.ac.jp  
 H P http://www.rctoyota.ac.jp

## 大学と市民との交流

7月9日

### 「赤十字国際活動の実際」講演会開催

開学して2年目を迎え、地域の方々との交流を本格的に軌道に乗せるべくその事業の一環として、講演会を順次開催していきます。第1回目の講師には、東ティモールでの救急法等講習支援事業やスマトラ沖地震・津波災害救護活動に従事した日本赤十字社愛知県支部 大脇奉仕安全課長を迎えました。



写真を交えての活動の説明に集まった150名の市民、学生等は熱心に耳を傾けました。

広報・公開講座委員会、地域交流課

## 公開講座

### 公開講座1

「パワーアップからだもこころも生き生き健康」をメインテーマとして、一般の方を対象に下記のとおり開催します。お気軽にご参加ください。

講座名・担当	日時・場所	内容	人数
腫瘍マーカー 担当:石黒教授	9月17日(土) 9:30-11:00 ヘルスプロモーションセンター	がんを早期発見するために考えられた検査法を解説し、現状と今後の見通しについて紹介します。	50名程度
こころの健康を考えていますか? 担当:精神看護学 端谷教授	10月15日(土) 9:30-11:30 ヘルスプロモーションセンター	講演 「こころの健康を考える」 体験 「ストレスチェック体験」	50名程度
健康と食生活 担当:基礎看護学	11月5日(土) 9:30-11:30 ヘルスプロモーションセンター	・脂肪測定(肥満度) ・食事の糖分・塩分測定 ・栄養バランスチェック	30名程度
更年期の健康 担当:母性看護学	12月10日(土) 9:30-11:30 ヘルスプロモーションセンター	更年期は急激にホルモンの分泌が減少するため、心身ともにさまざまな不調が起これやすい時期です。更年期を正しく理解し、上手に乗り切っていくための方法を一緒に考えてみませんか?健康体操を実施します。	40名程度

### 公開講座2

「看護研究・業務に生かす情報検索・統計処理」をメインテーマとして、看護職の方を対象に下記のとおり開催します。

講座名・担当	日時・場所	内容	人数
医中誌Web版、WebCatの利用法	10月15日(土) 9:30-11:30 LL教室	医学・看護文献データベース医中誌Web版の利用法及び蔵書情報データベースWebCatの利用法について解説します。	50名程度
Microsoft Excelによるデータ集計	11月26日(土) 9:30-11:30 LL教室	Excelの数式・関数利用の初歩、並べ替え機能・オートフィルタ機能、ピボットテーブル、グラフ作成機能の初歩を学びます。	50名程度
看護研究に活かす統計解析の基礎	12月10日(土) 9:30-11:30 LL教室	統計的推定・統計的検定の基礎を学び、なぜ看護研究に検定や推定が必要なのか、有意差とは何か、データの種類と利用可能な検定方法との関係について理解を深めていただきます。	50名程度

公開講座2の担当は、すべて水野教授です。

ホームページ <http://www.rctoyota.ac.jp>の申込フォームからお申込いただくか、氏名・住所・連絡先・参加希望講座を明記の上、日本赤十字豊田看護大学 地域交流課までハガキ・FAXでお申し込みください。